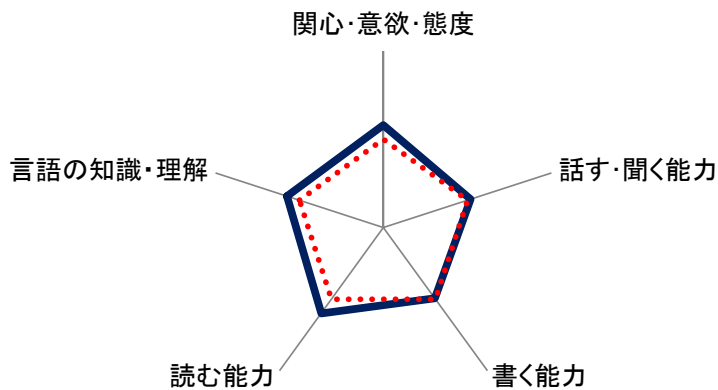


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

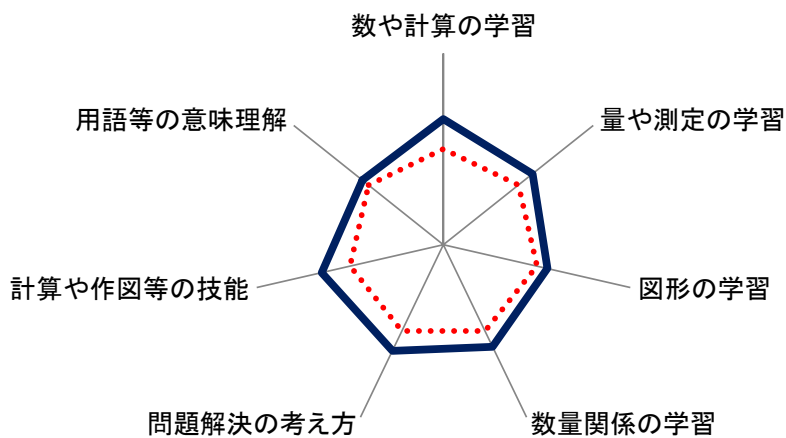
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

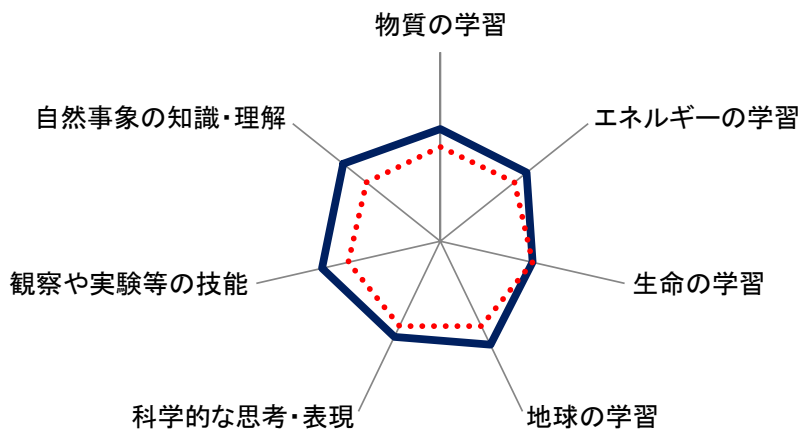
— 市平均
..... 全国平均



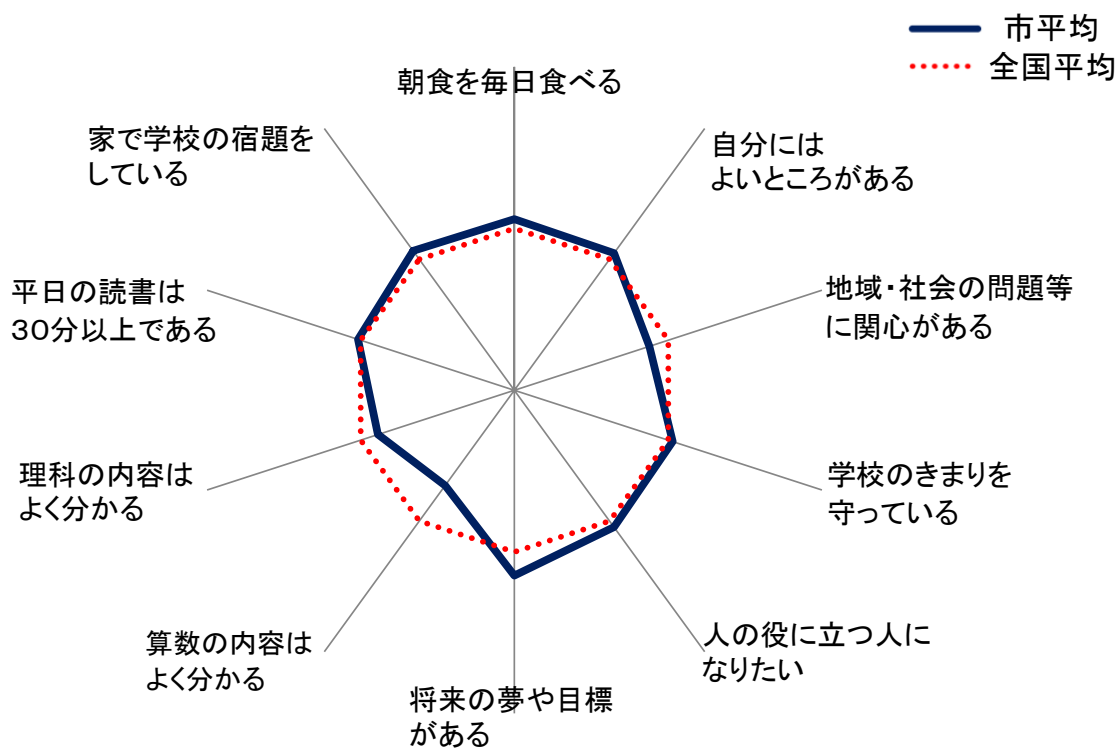
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数、理科の全ての項目で全国平均とほぼ同じか上回っており、結果は良好である。特に算数は「数や計算の学習」や「計算や作図等の技能」の項目が全国平均を大きく上回り、基礎基本の定着が図られている。また、理科は「観察や実験等の技能」や「自然事象の知識・理解」の項目が良好で、日々の授業において問題解決の過程を大切にしたい取組の成果が表れている。今後、更なる学力の向上と定着に向けて、各教科において知識と活用のバランスの取れた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、取り上げている多くの項目で、肯定的な回答が全国平均とほぼ同じか上回っている。しかし、「地域・社会の問題等に関心がある」や「理科の内容はよく分かる」の各項目は全国平均を下回っており、特に「算数の内容はよく分かる」の項目は全国平均を大きく下回っている。良好な学力の結果に関わらず、授業理解に関する項目が全国平均を下回っていることについて詳細に分析するとともに、児童にとっての「楽しい授業、分かる授業」が、どのクラスでも、どの時間でも行われるよう学校全体での更なる授業改善が望まれる。